

がん対策推進協議会委員より提出された意見（がん検診部分）

以下の事項は、協議会委員から提出された意見を分野別に整理したものである。今後、これらを踏まえ、次期がん対策推進基本計画策定に向けて検討すべきである。

受診率向上および受診勧奨などについて

- 親子・会社等を通じた社会全体からの新たな受診勧奨
- 市町村のがん検診と職域（協会けんぽ等）がん検診の連結管理
- 検診クーポンや受診勧奨・再勧奨等の施策の検証と改善
- 胃がん検診見直しに伴う検診受診率低下の防止
- 検診受診率向上および社会への啓発のための国民キャンペーンの実施
- 検診機関によるがん検診の普及啓発

精度管理について

- 正確な受診率測定のための、対面調査を含めた測定方法の検証
- マイナンバーとの連動等検診情報の一元管理
- 検診機関における精度管理の徹底
- 画像診断の精度や診断技術の向上、学会による指導強化

職域におけるがん検診について

- 企業、団体における健康づくり推進員の養成と受診人数の報告義務化
- 職域でのがん検診受診率向上のための産業医の関与の促進
- 有給休暇を使わず、がん検診や精密検査を受けられる仕組みの構築

がん検診の対象について

- 検診の効率を考慮に入れた対象年齢の設定（上限を含む）
- 小児・AYA世代のがん、希少がんの早期発見

情報提供について

- 検診の不利益（過剰診断、過剰検査、被ばく等）についても、国民に伝える。
- 科学的根拠に基づかない検診については、学会などが声明を発表するほか、「がん情報サービス」のトップページにもアラート情報を掲載する。

その他

- 女性が多く働いている企業等への受診推進のための働きかけを行うよう各都道府県に予算措置